



4 貴重な体験は、多くの人に伝えることで、お互いにより良い刺激となる。(長善館学習塾でのドローンの操縦体験)

問 事業終了後に、参加した児童たちが体験した感想等を各学校で発表する取組は行っているのか。

答 行っていない学校もある。発表する機会がある学校では「とても良い活動をしている」等の感想が聞かれた。長善館学習塾の閉校式での発表内容を、学校でも発表してもらえよう働きかけていく。(写真4)

「成長」の糧にするために
長善館学習塾事業
66万円

学ぶ 育てる 子育て・教育

問 1年間で何件相談があるのか。

答 令和2年度は714件で、実人数では、小学生26人、中学生37人、高校生2人、10代1人、20代4人、30代4人、その他2人が利用していた。相談しやすい場、周知がされているからこそ件数として表れていると捉えている。

声に耳を傾け、受け止める
学校不適応・心きこもり相談事業
674万円



5 初の試みで課題も当然あるが、どんな形であれ多くの人に喜ばれる式を目指してほしい。

LIVE
不参加でも楽しめるライブ配信を
成人式事業費
535万円

安心安全を与えられるように
療育支援事業
626万円

問 コロナ禍の中で昨年行われた成人式のライブ配信は、会場に入る前から式の終了まで全体を映す単調な映像がほとんどだった。参加できなかった人が、その配信を見て楽しめたのか。もっと工夫すべきでは。

答 ライブ配信は初めての試みだった。映像にインタビュアーを交えるなど、工夫できるような業者と打ち合わせをしていく。(写真5)

問 研修は年に何回行い、どのようなプログラムなのか。

答 発達支援のコーディネーター育成事業では、年2回主査クラスを対象に、大学教授等による研修会を実施。保護者支援育成講座では、コーディネーター研修や、療育の実務者向け研修会、保護者向けの支援講座を開催予定。療育支援担当の職員は、保育園等を訪問し、実践的研修を深めていく。

質疑から予算案を読み解く～2021年度版～

議員が市へ問う 430の質疑

予算のチェック

100
大河津分水 通水100周年
The Ohkawa Overpass Channel 100th Anniversary

1 2022年は大河津分水通水100周年。越後平野を守るため、現在も工事が進んでいる。



2 避難所も感染症対策に気を配らなくてはならない。パーティションは仕切りとしても機能する。



3 自宅でも外出先でも本が読めます。文字も大きくできます。おススメです。(つばめ電子図書館)

3月15、16、17日の3日間にわたり、20名の全議員で構成する予算審査特別委員会において、令和3年度予算審査が行われました。審査時間は、延べ11時間30分、質問数は延べ約430問強。質疑を通して、市民目線で予算を審査しました。

- 1 大河津分水通水100周年記念プレ事業 1,583万円
 - 2 避難所感染症対策事業 315万円
 - 3 図書館管理運営費 1億579万円
- ※金額は1万円未満切り捨てで掲載しています





7 接種券発送に向け、封入作業が行われた。(4月5日)

働く 魅せる 産業・観光

状況を見極め、すぐに対応

商工費
17億8427万円

問 飲食・小売業や観光業に対するコロナ対策が当初予算にないのはなぜか。

答 中小企業信用保証支援事業などコロナ対策として5事業を予算化しているが、飲食・小売業や観光業等は、随時状況に応じて補正予算で対応していく。

毎年数十人が離農している現実

踏み出せ！農業—スタートアップ事業
140万円

問 新たな担い手発掘を目的とした新規事業だと思いが、広報活動はどのように行うのか。

答 新規農業者をサポートする制度が他にもあるが、それらで補いきれない部分をカバーする事業となっている。農家の皆さんに周知するとともに、広く周知

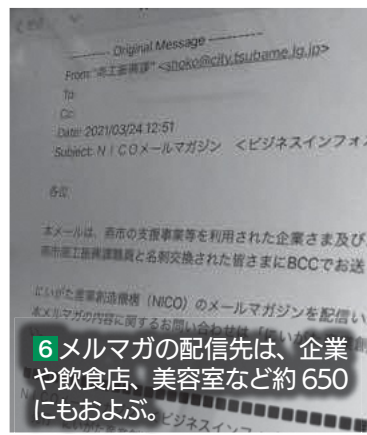
が図られるよう工夫する。

施策等、きめ細やかな情報発信を

商工費
17億8427万円

問 各企業に対する各種施策の情報発信は。

答 ホームページはもちろん、金融機関、商工会議所、商工会等と連携を取り情報発信に取り組んでいる。また、月1回実施のアンケート調査で、メールアドレスを教えていただいた企業には、メルマガジンとして施策等の情報発信を行う取組も始めている。(写真6)



6メルマガの配信先は、企業や飲食店、美容室など約650にもおよび。

暮らす 創る 生活・まちづくり

要望実現を一つでも多く目指す

側溝修繕事業
8500万円

問 前年度と比べて減額となっているが、自治会からの要望に添えていけるのか。

答 減額相当分は、国の補正予算を財源とし、令和2年度事業として前倒しで実施予定の分が減額となっているが、2か年合計では例年並みである。全要望に応えられない状況であり、要件はあるが、他事業も活用していきたい。

含み歳入はゆとりのある財政運営か

ふるさとと燕応援寄附金
7億円

問 ふるさと納税は、歳入歳出とも7億円計上。真水の寄附分は記載されていないが、含み歳入と考えていいのか。

問 いわゆる借金である臨時財政対策債に頼る財政運営から、脱却すべきではないか。

答 地方交付税の振替という形で発行しているのが実態である。臨時財政対策債ではなく、地方交付税として交付してもらえよう国へ要望していきたい。



(※) 臨時財政対策債(以下「臨財債」という)とは…地方自治体に交付される普通交付税の財源に不足が生じる場合に、その不足分を臨財債として自治体が借り入れる地方債。借り入れることで自治体は、実質的な普通交付税を確保している。なお、自治体の借金である臨財債の元利償還金相当額は、後年度に金額が普通交付税として措置される。

高める 守る 健康・福祉

希望のワクチンは足りるのか

新型コロナウイルスワクチン接種事業
3億203万円

問 この予算で、どのくらいワクチンが確保できるのか。

答 既に65歳以上の高齢者分は、接種のための補正予算を昨年度に組み、対応している。今回は、16歳以上64歳以下の2万7000人が2回接種できる5万4000回分を確保するための予算である。(写真7)

県央の消化器医療の充実のために

総合医療対策費
1474万円

問 令和元年度から3カ年事業として、新潟大学と連携し、県央地域の消化器疾患の検診・教育・予防体制の充実を図るとして

いるが、現状ではどのような効果が出ているのか。

答 医師の確保という面では、平成30年度に消化器内科の医師は4名だったが、令和3年3月末現在で5名の医師を確保できている。

磨く 輝く スポーツ・文化

誰が見ても納め得るように

図書館管理運営費
1億578万円

問 新潟県で初めて電子図書を導入したということだが、予算の妥当性は。

答 管理委託料が1600万円増だが、電子図書の運用、図書の購入、サービス管理などが要因で、妥当性はあると考えている。全国500以上も指定管理業務を行っている業者でもあり、サービス向上に取り組んでいく。

愛される大会となるように

燕さへらマラソン大会運営業務委託料
2138万円

問 業務委託料は予算のフレームを設けているのか。ある程度枠を作り、その中で努力することも大事ではないか。

答 積算方法は、必要経費を積み上げていった結果である。また、委託料については予算編成の際は枠を設けて、その中で収める努力をした経過もある。今後ともメリハリをつけた予算としていきたい。